

ニホンザル加害レベル管理チェックシート No. 1 【群れ・被害の現状】

市町村名

プルダウンで選択

自動表記

1. 加害群の状況と目標

加害群 No.	対策の方針*1	加害群名	旧市町村名	出没地域	推定生息頭数	発信器装着頭数	調査*2 レベル	加害レベル*3	
								現状 (H28.6)	目標 (H34.3)
1								0	
2								0	
3								0	
4								0	
5								0	

2. 項目別被害レベル

加害群 No.	農作物*4			生活環境*4			家庭菜園*4	餌付けの有無	その他
	水 稲	果 樹	野 菜	威 嚇	器物破損	住居侵入			
1									
2									
3									
4									
5									

* 1

表 1 対策の方針

指 標	定 義
○	対策の強化や新たな対策を講じる
△	現行の対策を継続する
-	対策の要望が少ない、または予定がない

鳥獣被害対策支援センター

* 2

表 2 調査レベルの定義

レベル	定 義
5	加害群の頭数、構成（性別、成獣、幼獣）を把握している
4	加害群の行動域を把握している
3	加害群の加害レベルを把握している。
2	加害群のおおよその頭数と分布（出没）を把握している
1	加害群がどこに分布（出没）しているか把握している

参考：環境省「ニホンザル対策モデル事業レポート」（2016.3）

* 3

表 3 加害レベルの定義*5

レベル	定 義
0	群れは山奥に生息しており、集落に出没することはないので被害はない
1	群れは集落にたまに出没するが、ほとんど被害がない
2	群れの出没は季節的で農作物の被害があるが、耕作地に群れ全体が出てくることはない
3	群れは、季節的に群れの大半の個体が耕作地に出てきて、農作物に被害を出す
4	群れ全体が、通年耕作地に出没し、常時被害がある。人と集落環境への慣れが進み、生活環境被害が発生する
5	群れ全体が通年・頻繁に出没。人と集落環境への慣れが進み、生活環境被害が大きく、人身被害の恐れがある

出典：環境省「ニホンザル対策モデル事業レポート」（2016.3）

* 4

表 4 被害状況の定義

レベル	定 義
0	被害はない
1	軽微な被害がある
3	やや大きい被害がある
5	甚大な被害がある
-	不明

鳥獣被害対策支援センター

* 5

3. 加害レベル試算表* 6

加害群 No.	出没頻度	平均的な出没規模	人への反応	集落への加害状況	生活被害	合計pt
1						0
2						0
3						0
4						0
5						0

* 6

表5 加害レベル判定表（環境省ガイドライン）

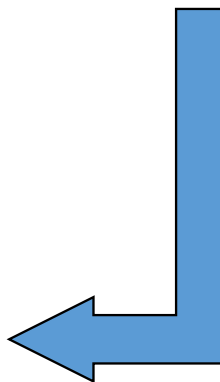
pt	出没頻度	平均的な出没規模	人への反応	集落への加害状況	生活被害
0	山奥にいるためみかけない	群れは山から出てこない	遠くにおいても、人の姿を見るだけで逃げる	被害集落はない	被害なし
1	季節的にみかけるときがある	2. 3頭程度の出没が多い	遠くにおいても、人が近くと逃げる。	軽微な被害を受けている集落がある	宅地周辺のみかける
2	通年、週に1回程度どこかの集落のみかける	10頭未満の出没が多い	遠くにいる場合逃げないが、20m以内までは近づけない	大きな被害を受けている集落がある	庭先に来る、屋根に登る
3	通年、週に2. 3回近くどこかの集落のみかける	10~20頭程度の出没が多い	群れの中に20mまで近づいても逃げないサルがいる	甚大な被害を受けている集落がある	器物を破損する
4	通年、ほぼ毎日どこかの集落のみかける	20頭以上の出没が多い	追い払っても逃げない、または人に近づいて威嚇するサルがいる	甚大な被害を受けている集落が3集落以上ある	住居侵入が常習化

出典：環境省「二ホンザル対策モデル事業レポート」（2016.3）

表6 ポイント別加害レベル

加害レベル	合計ポイント
0	0
1	1~2
2	3~7
3	8~12
4	13~17
5	18~20

出典：環境省「二ホンザル対策モデル事業レポート」（2016.3）



※各指標のポイントを合計して加害レベルを判定する

ニホンザル加害レベル管理チェックシートNo.2【計画・評価】

プルダウンで選択

自動表記

市町村名

1. 加害レベル

No.	方針	加害群名	現 状 (H28)	目 標 (H29)	実 績 (H29)	評 価		備 考
						加害群別	総 合	
1								
2								
3								
4								
5								

2. 管理

管理	計 画（当該年度の前年度末に記載）			実 績（当該年度の後期に記載）			評 価			
集 落 環 境	収穫残渣管理									
	緩衝帯整備									
	耕作放棄地の管理									
被 害 防 除 対 策	電 気 柵	7 段								
		多獣種型								
		その他								
	追い払い・追い出し									
資材などの配布										
個 体 群 管 理	No.	推定頭数 (H28)	捕獲の目的		発信器 の装着	捕獲頭数	推定頭数 (H29)	発信器の装着		細目別
							個体頭数	差		
	1								0	
	2								0	
	3								0	
	4								0	
5								0		

平成 年度二ホンザル加害レベル管理実施方針（群馬県）

1 県全域－①

目 標		具体的対策
長 期 (H29～H33)	短 期 (H29)	
	前期	
	後期	
評 価		

1 県全域－②

目 標		具体的対策
長 期 (H29～H33)	短 期 (H29)	
	前期	
	後期	
評 価		

2 県南西部地域個体群

目 標		具体的対策
長 期 (H29～H33)	短 期 (H29)	
	前期	
	後期	
評 価		

3 県西部個体群

目 標		具体的対策
長 期 (H29～H35)	短 期 (H29)	
	前期	
	後期	
評 価		

4 県北部個体群【第Ⅰブロック】

目 標		具体的対策
長 期 (H29～H30)	短 期 (H29)	
	前期	
	後期	
評 価		

5 県北部個体群【第Ⅱブロック】

目 標		具体的対策
長 期 (H29～H30)	短 期 (H29)	
	前期	
	後期	
評 価		

6 県北部個体群【第Ⅲブロック】

目 標		具体的対策
長 期 (H29～H30)	短 期 (H29)	
	前期	
	後期	
評 価		

7 県北部個体群【第Ⅳブロック】

目 標		具体的対策
長 期 (H29～H30)	短 期 (H29)	
	前期	
	後期	
評 価		